

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	学年	2	授業形態	必修
使用教科書・使用教材				単位数	2	授業時数	78
教科書『新家庭基礎 パートナーシップでつくる未来』（実教出版） 補助教材『2021 最新生活ハンドブック』（第一学習社）							
学習目標	人の一生と家族・福祉、衣食住・消費生活などに関する基礎・基本的な知識と技術を習得させる。各自の生活に関心や問題意識を持たせ、課題解決していく態度と人生をデザインする力を育てる。						
授業内容概要	学期	単元名・学習内容		学習方法・留意事項・具体的な学習目標等			
	一学期	1編1章 自分らしい生き方と家族 1. 自分を見つめる 2. 自立した生き方、共に生きる人生 3. 共に生きる家族 5. 私たちの生活を支える労働と生活時間 2編2章 衣生活をつくる ○エプロン製作(前半)		【通年】NHK高校講座を視聴して、レポートを提出する。 ・青年期の特徴について学ぶ。 ・「オトナ」と自立について考える。 ・様々な家族や家庭、世帯について学ぶ。 ・ライフ・ワーク・バランスについて学ぶ。 ・エプロン製作を通し、手縫いの技術を習得する。			
	二期	1編2章 子どもとかかわる 2. 発達のすばらしさ 3. 子どもの生活 4. 親になることを考えよう		・子どもの発達と保育の重要性について学ぶ。 ・子どもの人間形成と親の役割について理解を深める。 ・児童虐待について考える。			
	内容	◇ホームプロジェクトの実施		・夏季休業中に各家庭の課題を見つけ、解決策を実施した結果をレポートにまとめて提出する。			
	二期	3編2章 経済的に自立する 1. 経済のしくみを知る 2. ライフステージと経済計画 2編2章 衣生活をつくる ○エプロン製作(後半) 3. 衣生活の管理		・収入と支出の関係と給料や社会保険料の詳細を知る。 ・一人暮らしや家庭に必要な生活費を考え、予算を立てる。 ・刺し子・刺しゅうなどの装飾技術を習得する。 ・ミシンの技術を習得し、アイロンかけを学ぶ。 ・洗濯など衣服の手入れ方法を学ぶ。			
三期	2編1章 食生活をつくる 1. 私たちの食生活 2. 栄養と食品のかかわり 5. これからの食生活を考える 4. 食事の計画と調理		・食生活診断を行い、食生活の問題点を探る。 ・食事摂取基準・摂取量のめやすを用いてバランスのとれた献立を立てる。 ・食料自給率と食品ロスについて考える。 ・調理の基本を習得する。 ・安全に留意しながら調理実習を行う。 (実習時期・内容については臨機応変に対応する)				
三期	2編3章 住生活をつくる 2. 住まいを計画する 3編1章 消費行動を考える 2. 社会の変化と消費生活 4. 持続可能な社会環境 ◇総合		・住宅広告を使って間取りや付帯設備、契約に必要なお金について学ぶ。 ・成年年齢引き下げと「契約」「ネット購入」「クレジットカード」について学ぶ。 ・「気候変動」「ゴミ問題」「エンカル」などをSDGsと関連させて学ぶ。 ・将来の人生設計を想像して人生ゲームを作る。				
評価の観点と方法	作品やレポートの完成度や実習などの取り組み状況等を総合的に判断して成績をつける。						